

ライチ便り No. 51

～福岡広州ライチ倶楽部会報 2021年11月号～

<http://lychee-club.jp/>

11月にはいるといきなり年末の気分が漂い始めますね。

このところ新型コロナの感染者が減少をキープしていて嬉しい限りです。このままウィズコロナで穏やかな日常に戻ればいいのですが。

ライチ便りの発行が遅れて申し訳ありません。活動がすっかり奥田さんのSNS頼みになってしまって、記事にしてお伝えする内容に事欠いていたので…とは苦しいけれど、本音の言い訳です。飲茶会の実施を待って、やっと発行に漕ぎつけた次第です。

次号の発行は来年になります。皆さまどうぞ良いお年を！

第15回飲茶会を行いました

昨年度はコロナ禍で実施できなかった飲茶会を、今年度は1年半ぶりに行うことが出来ました。あいにふの研修室Aの予約競争に負けて、参加者の皆さんにはご不自由をおかけしましたが、何とか工夫して終わりまで調理実習室で行いました。

今回も、王和雄先生が秋にふさわしい料理を3種類選んで教えてくださいました。

秋には白い食物を摂るのが体に良いそうで、山芋やキノコ、白木耳を具にした牛乳のスープ。外はカラッと中はジューシーな鶏の唐揚げと、ブロッコリーの牛ミンチあんかけ。牛ミンチのあんには、レシピにはなかった「陳皮」があしらわれ、どれもすばらしく美味でした。

参加者は19人。初めての参加者も多く、久々のオフラインによる活動をいっしょに楽しみました。



『広州まちかどセミナー』の舞台裏 ～広州の奥田さん寄稿～

コロナで広州へ渡航ができない中、少しでも現地の情報をお届けしたいと、「広州まちかどセミナー」をオンライン開催しております。既に5回開催し、たくさんの会員の皆様にご参加いただきました。とても励みになっております。ありがとうございます。

さて、このセミナーですが、企画の際、表のテーマとは別に大切にしているのは、広州のリアルな人々とのつながりです。中国の政治や経済に関する情報は日々届けられます。しかし、人の往来が減った分、中国で暮らす人々を目にしたり、交流したりする機会は減ってしまいました。それなら、普通の市民同士をつなぎ、交流の機会を創ることに、我々のような民間交流団体の役割があるのではないかと考えています。

なお、今まで登場したのは、日本語を学ぶ大学生・玉ちゃん、普洱茶の高級茶芸師、日系自動車メーカーの駐在員、広州市場に挑む福岡企業といった方々です。その他、運営にも多くの方が手伝いに来てくれます。皆さん良い方ばかりで、とても前のめりに協力して下さいます。また、大学生だった玉ちゃんは既に卒業し、出演の縁でその自動車メーカーの通訳として働き出しました。広州に進出した福岡企業には、出演後に紹介依頼を何件か受けました。



今の私の夢は、コロナ後、皆さんに高級茶館で美味しい普洱茶を体験していただくことです。このように、小さなさざ波程度ですが、交流の輪も生まれています。とても嬉しいことです。

そんなわけで、次回のセミナーは、12月5日(日)、広州の託児所から実施予定です。筑波大学に留学していた馬さんは、帰国後、母親の運営する託児所を継ぐことになり、今秋から若くして園長に就任しました。彼女が見た日本での保育、広州の最新保育設備の現状、そして目の前の託児所の現状と未来への不安に悩む姿が、皆様にお伝えしたい裏テーマです。ご興味のある方は是非、お申し込みください。担当メール(machikado@lychee-club.jp)

ライチ倶楽部として各種 SNS のアドレスを設定しました

H P : <http://lychee-club.jp>

Facebook : <https://www.facebook.com/fukuoka.guangzhou.lychee.club>

NOTE : https://note.com/lychee_club

YouTube : <https://www.youtube.com/channel/UC84Db1iuGdBACKPBLIdPreQ>

Twitter : https://mobile.twitter.com/lychee_club

Instagram : https://www.instagram.com/fukuoka_guangzhou_lycheeclub

* 当倶楽部のHPと各種 SNS を開設しています。是非アクセスしてみてください。

* 会費未納の方は、今年度会費の振込をお願いします。個人：3000円 団体：一口10000円

* 会報を送付するのは電子メールが便利です。メールアドレスをお持ちの方は是非お知らせください。